学校番号	1006

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　社会と情報」　（東京書籍）						
副教材等	コンピュータ入力問題集第三版　（日本文教出版） 2020　事例でわかる情報モラル（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校にない教科です。情報機器の操作の修得だけでなく、情報モラルについても考えます。
スマホをはじめとした情報機器は使い方によっては社会をよりよくする道具ですが、不適切に扱ったり、間違った知識・態度であれば、自身が被害者にも加害者にもなりえます。では、どのように「上手に」情報機器を扱っていけばよいのか、一緒に考えましょう。

２　学習の到達目標

①情報を適切に収集して整理し、表現するという「情報活用能力」を習得する。
②情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。
③社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	１学習活動（講義，演習，質疑応答など）に積極的に参加したか。 ２提出物の作成（授業ノート、実習作など）に意欲的に取り組んだか。 ３集中して授業を受けたか。	１論述問題などで，科学的な根拠に基づいて述べることができているか。 ２探究活動などで，実験内容を自分で考えたり，仲間と議論しながら行うことができているか。	１機器の操作を適切に遂行できたか。 ２それぞれの操作の意味を理解して，正確に遂行できたか。 ３計測や結果の記録など正確に行えたか。	１情報技術の専門用語を正しい意味を踏まえて理解しているか。 ２グラフや表などの与えられた問題に対して論理的に読み取り、正答を導けるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	情報社会の課題を考える	・個人情報やプライバシーを守る ・情報を扱う責任 ・上手なネットコミュニケーション	○	○	○		a. 個人情報やプライバシーを守ることについて関心を持っている。 b. インターネット上のトラブルの加害者にならないための注意すべき点を考えている。 c. インターネットでの発信において，慎重に行うことができる。 d. 個人情報やプライバシーを守るには，どのような点に注意すればよいか理解している。	定期考査 授業態度 授業プリント
2	情報を表現する	・情報とさまざまなメディア ・ディジタルの世界 ・数値と文字、画像のディジタル化	○	○		○	a. 情報やメディアについて関心を持っている。 b. ディジタルデータの特徴を基に身近な問題を考えることができる。 c. 情報の価値の有無を区別することができる。 d. ディジタルの特徴とその表現方法を理解している。	定期考査 授業態度 授業プリント
	ネットワークを探索する	・IP アドレスとルータ ・サーバの役割と仕掛け ・情報検索 ・情報の信頼性	○	○ ○	○	○ ○	a. インターネットの仕組みについて関心を持っている。 b. 正しい情報は何か判断できる。 c. 情報検索を行う上でのキーワードの適切な選択ができる。 d. サーバの役割や IP アドレスの役割について理解している。	
3	情報で暮らしが変わる	・日常の中の情報システム ・誰もが情報を利用できる社会 ・情報科と社会の変化	○		○	○	a. 日常の中の情報システムについて関心を持っている。 b. 学習環境や生活環境，災害時などにおいて，情報化による取り組みの変化について考えている。 c. ユニバーサルデザインとなるようなピクトグラムを作ることができる。 d. 誰もが情報を簡単に利用できるための方法について理解している。	定期考査 授業態度 授業プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。